

2025年度数学講究XB(数理科学概説)日程一覧

※教室は大講義室です。(5/20,5/21の2日間は002講義室)
時間はa(14:55～15:50),b(15:50～16:45)の各55分間で別の教員の講義があり、それぞれの講義時間で出席をとりますので、全講義出席するようお願い致します。

月	日	曜日	時 間 帯	教員名	講義室	講義のタイトル
5	7	水	a(14:55～15:50)	阿部 紀行	大講義室	最高ウェイト表現
5	7	水	b(15:50～16:45)	小林 俊行	大講義室	対称性の数学
5	13	火	a(14:55～15:50)	松井 千尋	大講義室	量子模型の可解性と非熱平衡化
5	13	火	b(15:50～16:45)	三枝 洋一	大講義室	非可換類体論入門
5	14	水	a(14:55～15:50)	河東 泰之	大講義室	作用素環, 数理物理学, テンソル圏
5	14	水	b(15:50～16:45)	高津 飛鳥	大講義室	幾何解析と最適輸送理論
5	20	火	a(14:55～15:50)	ウィロックス ラルフ	002講義室	離散可積分系とは
5	20	火	b(15:50～16:45)	宮本 安人	002講義室	偏微分方程式の定性的理論
5	21	水	a(14:55～15:50)	戸田 幸伸	002講義室	Donaldson–Thomas理論とその圏論化
5	21	水	b(15:50～16:45)	小池 祐太	002講義室	高次元データの統計学
5	27	火	a(14:55～15:50)			
5	27	火	b(15:50～16:45)			
5	28	水	a(14:55～15:50)	岩木 耕平	大講義室	パウルヴェ方程式と数理物理
5	28	水	b(15:50～16:45)	河上 龍郎	大講義室	Cartier作用素と特異点
6	4	水	a(14:55～15:50)	足助 太郎	大講義室	葉層構造と擬群について
6	4	水	b(15:50～16:45)	伊山 修	大講義室	瓶の表現論: GabrielとKacの定理
6	10	火	a(14:55～15:50)	池 祐一	大講義室	パーシステントホモロジーとその周辺
6	10	火	b(15:50～16:45)	大島 芳樹	大講義室	リー群の作用と表現
6	11	水	a(14:55～15:50)	葉廣 和夫	大講義室	絡み目と3次元多様体の量子不変量について
6	11	水	b(15:50～16:45)	酒井 拓史	大講義室	公理的集合論の紹介
6	17	火	a(14:55～15:50)	逆井 卓也	大講義室	多様体の埋め込み像の空間について
6	17	火	b(15:50～16:45)	佐々田 楨子	大講義室	相互作用粒子系の数学
6	18	水	a(14:55～15:50)	今野 北斗	大講義室	ゲージ理論と4次元トポロジー
6	18	水	b(15:50～16:45)	ケリー シェーン	大講義室	Motives in algebraic geometry
6	24	火	a(14:55～15:50)	北山 貴裕	大講義室	3次元多様体の基本群
6	24	火	b(15:50～16:45)	会田 茂樹	大講義室	対数ソボレフ不等式について
6	25	水	a(14:55～15:50)	増田 弘毅	大講義室	非正規ランダムダイナミクスの統計数理
6	25	水	b(15:50～16:45)	白石 潤一	大講義室	q-ガルニエ系の量子化とアフィンロウモン空間
7	1	火	a(14:55～15:50)	三竹 大寿	大講義室	Brakkeの平均曲率流と粘性解理論
7	1	火	b(15:50～16:45)			
7	2	水	a(14:55～15:50)	MILANOV Todor	大講義室	Gromov–Witten theory
7	2	水	b(15:50～16:45)	林 修平	大講義室	エルゴード最適化に関するTPO予想について
7	8	火	a(14:55～15:50)	本多 正平	大講義室	曲率の幾何学とそのモジュライ
7	8	火	b(15:50～16:45)	高木 俊輔	大講義室	代数多様体の特異点
7	9	水	a(14:55～15:50)	柏原 崇人	大講義室	鞍点型変分問題とinf-sup条件
7	9	水	b(15:50～16:45)	今井 直毅	大講義室	局所 Langlands 対応とその幾何化
7	15	火	a(14:55～15:50)	植田 一石	大講義室	数学とコンピューター
7	15	火	a(14:55～15:50)	関口 英子	大講義室	リー群と表現論

(注意事項)
数学講究XBは全講義の出席を原則とします。ただし、以下のいずれかの理由の場合は、公休の扱いになります。
・教育実習のため
・介護等体験のため
・学部生向け集中講義出席のため
やむを得ない事情で欠席する場合は、事前に数理科学教務チームへ理由等をメールで連絡してください。
メール宛先：数理科学教務チーム(skyoumu.c@gs.mail.u-tokyo.ac.jp)